

2009年度前期「学生による授業評価」アンケート実施報告

「学生による授業評価」アンケート調査結果の概要を報告します。
データ分析は、集計・分析を委託した(株)教育ソフトウェアによるものです。

<調査概要>

【調査実施時期】	2009年 6月29日(月) ~ 2009年 7月10日(金)	
【調査対象】	姫路獨協大学の全学生	
【調査方法】	授業出席者に対して配付、授業時に回収	
【調査内容】	教員の授業、教員の授業姿勢、授業内容、授業満足度、受講態度の評価	
【総配付サンプル数】	32,307 枚	
【調査回収サンプル数】	20,249 枚	【回収率】 62.7 %

学部別	
外国語学部	3,639
外国語学科	1,563
ドイツ語学科	213
英語学科	729
中国語学科	184
日本語学科	717
韓国語学科	99
スペイン語学科	134
法学部	2,918
経済情報学部	3,903
医療保健学部	6,472
理学療法学科	1,667
作業療法学科	1,414
言語聴覚療法学科	902
こども保健学科	1,260
臨床工学科	1,229
薬学部	2,938

学年別	
1 年	6,857
2 年	5,744
3 年	5,396
4 年	1,765

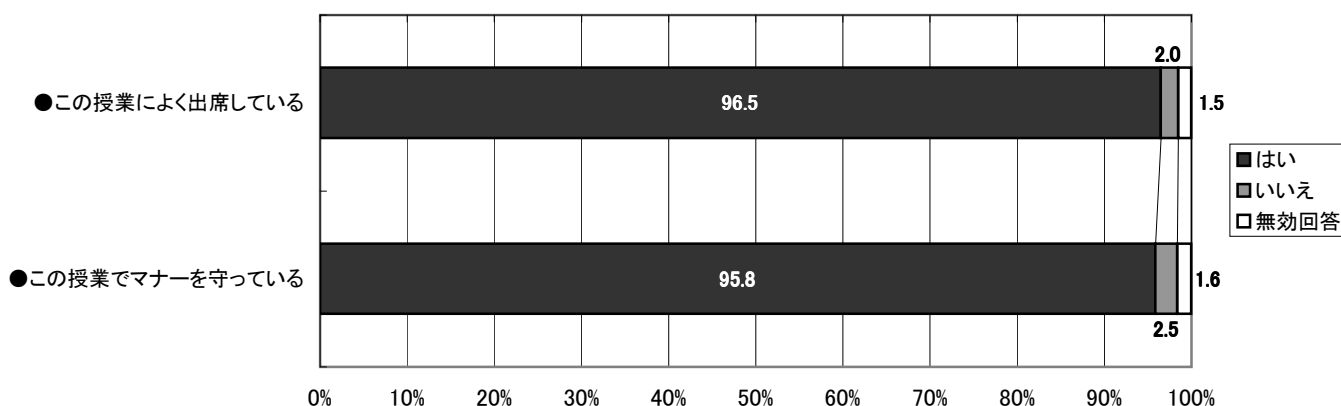
性別	
男 性	12,168
女 性	7,750

学生区分	
学部生	18,864
留学生	904
その他	57

<学生の受講態度について>

(回答者数 = 20,249)

- 『この授業によく出席している』についての自己評価は、「はい」が96.5%と圧倒的に高く、アンケート回答者の授業の出席率の高さがうかがえる。
- 『この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』でも、「はい」は95.8%でほぼ全ての学生がマナーを守っていることがわかる。



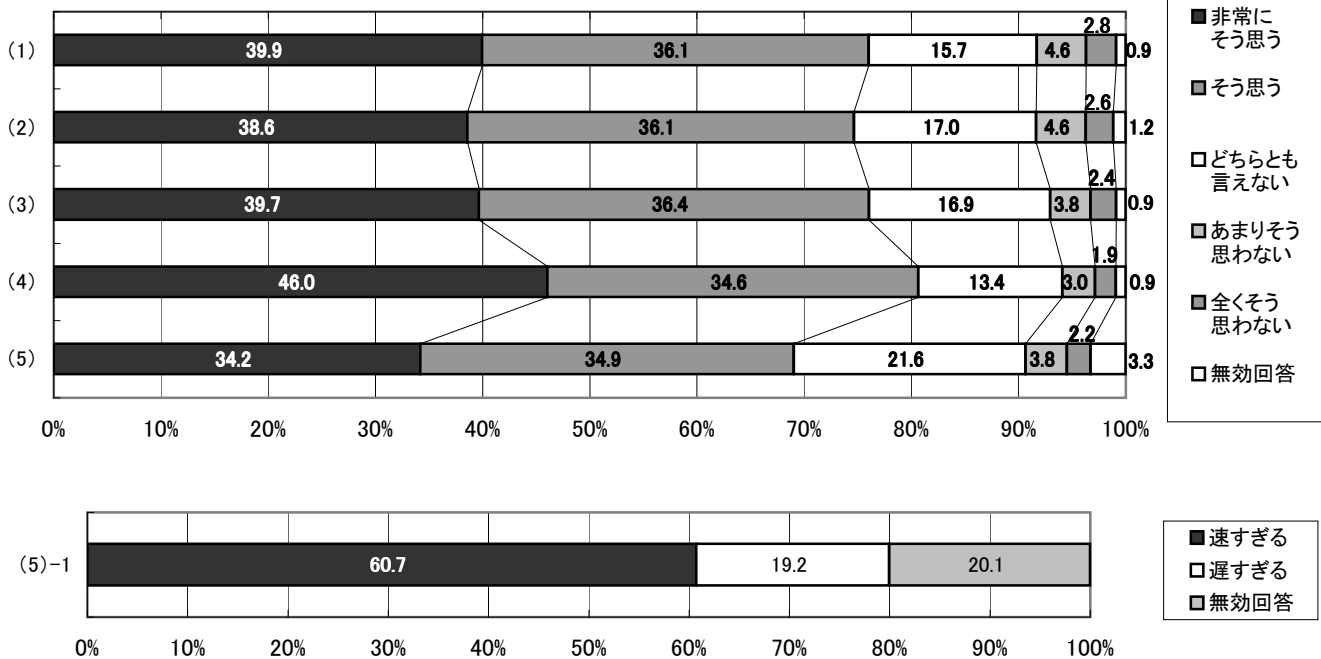
※体育科目は(1)～(3),(12)の質問文の内容を変更して実施。【()内参照】

<教員の授業に関する基本的な質問>

(回答者数 = 18,136)

- 『教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている』という質問に対し、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計は80.6%。8割以上が『教員の時刻厳守』を高く評価している。
- また、『教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる』、『教員は、教材及び教育設備を適切に活用している』、『教員は、授業のテーマや目的を明確に示している』でも、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計は70%を超え、概ね評価は高い。
- 『この授業の進度は適切である』という質問に対し、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計は6.0%。進度が適切と思っていない回答者のうち、60.7%は授業の進度を『速すぎる』としている。

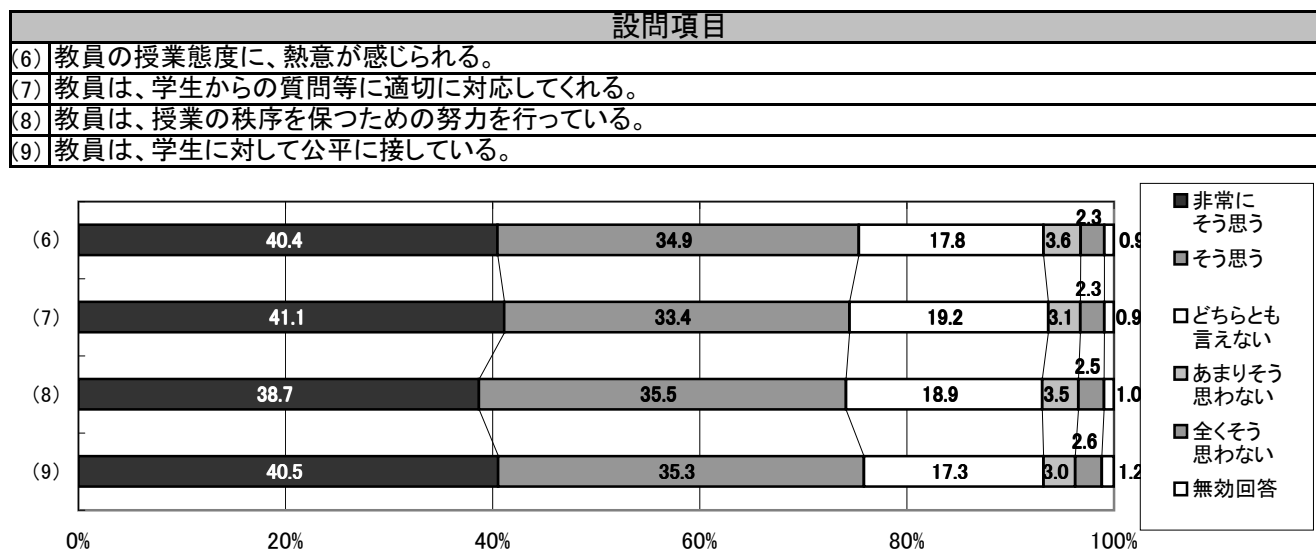
設問項目	
(1)	教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる。 (教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった。)
(2)	教員は、教材(教科書、レジュメ等)及び教育設備(ホワイトボード、パワーポイント等)を適切に活用している。 (教員は、授業での課題呈示(教材や運動の種類など)を適切に活用している。)
(3)	教員は、授業のテーマや目的を明確に示している。 (毎回、少しでも運動技術は上達している。)
(4)	教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている。
(5)	この授業の進度は適切である。 但し、2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない を選択した場合、 (5)-1 この授業の進度は



<教員の授業に関する姿勢についての質問>

(回答者数 = 18,136)

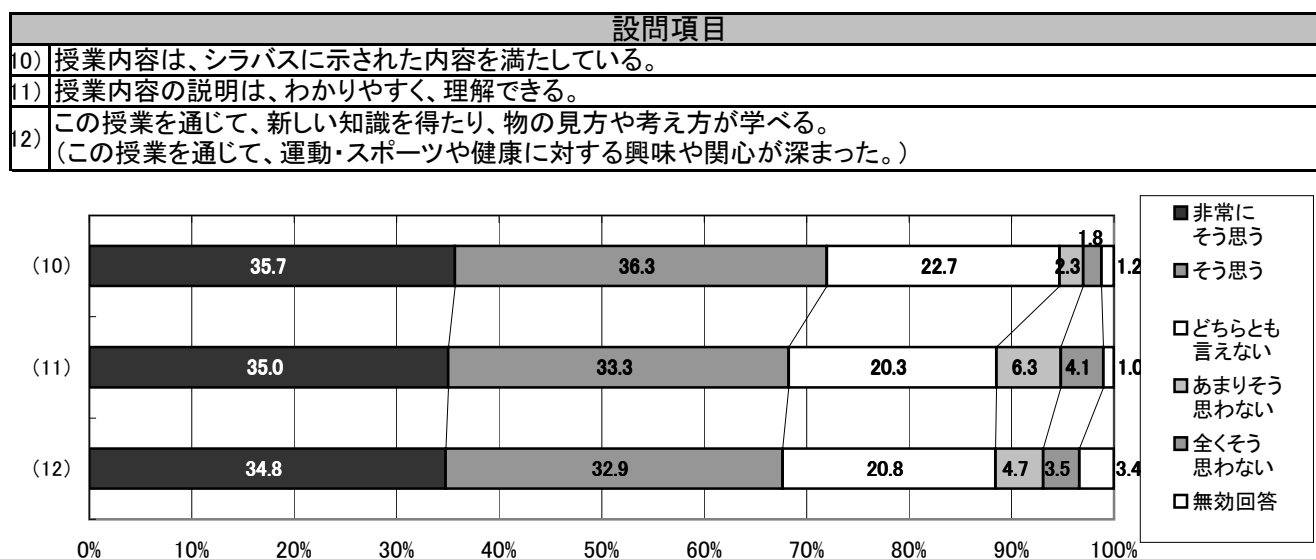
- 教員の授業に関する姿勢では、全ての設問においても、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が75%前後になっており、学生の満足度が軒並み高い結果になった。
- また、各設問において「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計が5%前後という事で、不満を持った学生の少なさがわかる。



<授業の内容に関する質問>

(回答者数 = 18,136)

- 授業内容では、『授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』という質問に対し「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が72.0%と最も高い。
- 逆に、「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計がもっとも高い設問は、『授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』で10.4%であった。

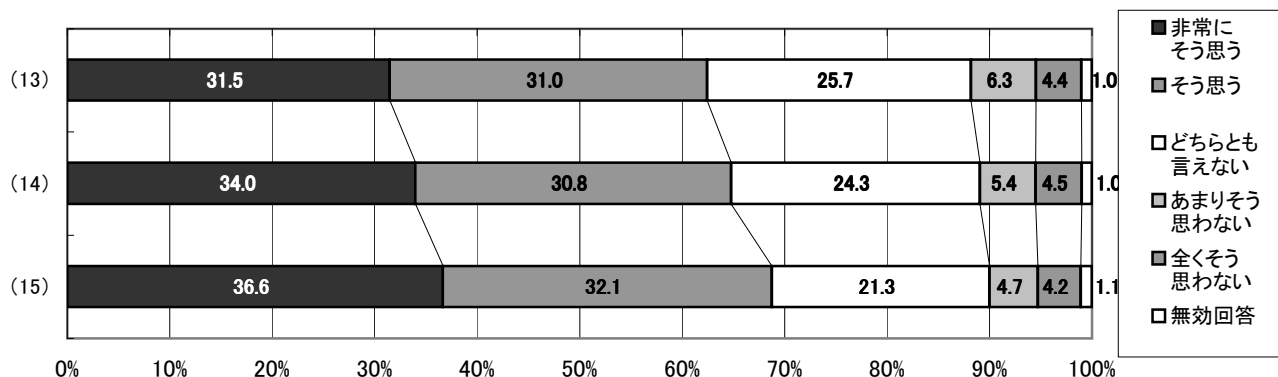


<授業に対する満足度に関する質問>

(回答者数 = 18,136)

- 授業に対する満足度に関する設問では、『総合的にみて、この授業を受講して満足している』という質問に対し「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が68.7%と授業に対する満足度に関する質問の中では最も高い。
- ただ、授業に対する満足度に関する設問では、全てにおいて「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計が10%前後あるので、教員の授業に対する姿勢や授業内容の工夫などで、改善を図ることで、満足度が高まっていくと思われる。

設問項目	
13)	この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった。
14)	この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う。
15)	総合的に見て、この授業を受講して満足している。



■データ分析

全体データについて-----

- 受講態度について
授業への出席や受講マナーはほぼ全ての回答者の評価が高い事から、回答者の意欲を伺う事ができる。
- 教員の授業に関する質問について
教員の時間厳守に関する評価は8割以上と最も高い。
授業進度については7割近くの回答者が満足しているが、6%程度の満足していない回答者の中で6割以上は、進度が速すぎるとしている。
- 教員の授業に関する姿勢について
姿勢については全ての設問で7割以上の回答者が満足をしているという結果になった。
逆に満足していない回答者は、5%程度しかいないという事で、概ねの学生は満足しているという事が言える。
- 授業内容について
授業内容については7割前後の回答者が満足という結果になった。
ただ、『授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』という設問では、不満足回答者が1割を超えている為、そのあたりに改善の余地がうかがえる。
- 授業に対する満足度について
今回7割近くの学生が満足している結果になったが、もっと学生の学習意欲を高める工夫を行う事で総合満足度や推薦意欲につながっていく。
- 全体について
2008年度前期・後期それぞれの集計結果と比較すると、全体的に前期の方が後期に比べて評価が低い。
前期集計結果と比較すると、概ね同じぐらいの評価であるが、後期集計結果に比べると下がっている。